

令和5年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
中	1	旧根岸競馬場一等馬見所の方向性検討	旧根岸競馬場一等馬見所の建物の安全性維持の検討等	政策局	○
中	2	中村川、堀川及び大岡川の回遊性の向上を目指した(仮)石川町棧橋整備	1 (仮)石川町棧橋の整備に向けた関係機関との調整 2 (仮)石川町棧橋の整備 3 中村川、堀川及び大岡川の棧橋の管理体制の検討	都市整備局	○
中	3	初黄・日ノ出町地区地域再生まちづくり事業(店舗等借上事業)	土地利用転換を促進するための建物賃借の継続	都市整備局	○
中	4	初黄・日ノ出町地区の再生を目指した活動創出事業	新たなまちづくり活動の創出に向けた地域支援	都市整備局	○
中	5	初黄・日ノ出町地区における文化芸術を活用したまちづくり	1 京急高架下や小規模店舗跡を活用した文化芸術活動拠点の整備 2 地元NPOと協働しての拠点運営や更なる活用方策の検討	文化観光局	○
中	6	初黄・日ノ出町地区の防犯対策	防犯活動支援(地元協議会安全・安心まちづくり活動支援、地域防犯拠点等の防犯機能の向上、防犯啓発事業)の強化	市民局	○
中	7	矢羽根型サインなどの観光案内施設の一括管理システムの構築	施設の維持管理に関する予算措置及び一括管理システム等の構築	道路局	○
中	8	なか国際交流ラウンジ 外国人転入者向け生活ガイダンス事業	生活ガイダンスのコンテンツ作成や情報分析等	国際局	○
中	9	中土木事務所拡張事業(災害対応拠点)	中土木事務所拡張に関する工事	市民局	—
中	10	区こども家庭支援課での多言語対応強化	区の状況に合わせた外国語対応体制の強化	こども青少年局	—

### 令和5年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	政策局	中区		区政推進課	
		担当者名	飯田、蓬田	TEL	224-8128
		共通区			
			継続年数	3年	
提案種別					
予算関連					
番号	項目				
1	旧根岸競馬場一等馬見所の方向性検討				
◇地域の課題、基礎データ等					
<p>根岸森林公園内の旧根岸競馬場一等馬見所は、「建物の歴史性を生かしなおかつ市民が利用しやすい施設」とする目的として、昭和62年に市が取得しましたが、利用計画が決まらないまま外から鑑賞させる公園の教養施設として平成14年に都市公園法の公開手続をとりました。旧根岸競馬場一等馬見所の利用計画については、米軍根岸住宅地区の接收解除に向けた取組に合わせて検討を進めることになっていますが、抜本的な補修が行われていないため老朽化が激しく、建物の耐震性も確保されていません。</p> <p>一方米軍根岸住宅地区は、平成16年に返還の方針、令和元年度に現状回復作業を速やかに実施するための共同使用について日米で合意され、令和3年3月に「根岸住宅地区跡地利用基本計画」が策定されました。今後は早期事業化に向けた検討が進められる予定であり、根岸森林公園に隣接する部分は、旧根岸競馬場一等馬見所などのゾーンと一体的に利用できるように根岸森林公園を拡張することが計画されています。</p> <p>「根岸住宅地区跡地利用基本計画」を軸としたまちづくりが進められる中、隣接地にある旧根岸競馬場一等馬見所についても、その歴史的価値から保存・活用に向けた整備等を求める声が上がっていますが、今後の方向性について具体的な検討が進んでいない状況です。</p>					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )					
◇区民からの具体的な要望					
<p>旧根岸競馬場一等馬見所について、歴史的建造物としての価値を評価し、修復・保存・活用してほしいとの要望があります。具体的には、景観を生かした市民の憩いの場とすることや観光資源として活用することに対する要望、また、建物を保存活用することで公園の価値を高めることにもつながる、などの意見があります。</p> <p>また、現在の建物状況（窓ガラスの破損による雨風の侵入等）の早期改善について要望があります。</p>					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。					
<p>中区運営方針「4 地域の活力があふれるまちづくり」          横浜市都市計画マスタープラン中区プランの「3-2 エリア別方針（4）本牧・根岸エリアのまちづくり《方針2》魅力的な歴史・文化資源の保全・活用」において、一等馬見所の魅力発信について記載しています。</p>					
◇提案内容・概算額等					
<p>歴史的建造物の保存手法や制度の検証、建物の劣化状況や耐震性の確認等を、関係課長会（政策局、環境創造局、中区、都市整備局、教育委員会）等を通じて行いながら、安全性維持の検討等を進める必要があります。</p> <p>・旧根岸競馬場一等馬見所の方向性検討（委託費：■千円）</p>					
◇参考：区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課		政策局政策課			

#### ◆局回答内容

政策局		政策課	
担当者名	池上、花本	TEL	671-3125

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 旧根岸競馬場一等馬見所の今後の保存活用の方向性について、建物の安全性等を考慮し、関係区局（政策局、環境創造局、都市整備局、教育委員会事務局、中区等）と連携しながら検討を行います。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

### 令和5年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局	中区		区政推進課	
		担当者名	飯田、蓬田	TEL	224-8128
		共通区			
		継続年数		7年以上	
提案種別		予算関連			
番号	項目				
2	中村川、堀川及び大岡川の回遊性の向上を目指した(仮)石川町棧橋整備				
◇地域の課題、基礎データ等					
<p>元町、中華街及び石川町商店街エリアには、中村川及び堀川が流れており、将来的に地域資源として常時活用されることが期待されます。また、中村川・堀川と繋がる大岡川と併せて活用することで、水上交通等による都心臨海部の回遊性の向上が期待されます。</p> <p>平成29年度に地域が開催したワークショップでは、石川町エリアへの棧橋を優先的に整備するものとする合意がまとまりました。平成30年度からは、関内・関外地区活性化協議会の外部団体として、「中村川・堀川棧橋整備検討チーム」が立ち上がり、地域と連携して棧橋整備に向けて取り組んでいます。</p>					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )					
◇区民からの具体的な要望					
都心臨海部の回遊性を高めるための、中村川、堀川及び大岡川の棧橋の整備及び水上交通の推進					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。					
<p>中区運営方針「4 地域の活力があふれるまちづくり」          横浜市都市計画マスタープラン中区プランの「2-5 都市交通に関する方針《方針3》」中区の資源を生かした多彩な交通の充実」に都心臨海部の回遊性を高める水上交通や、水上交通レクリエーションの拠点となる棧橋等の整備について記載しています。</p>					
◇提案内容・概算額等					
<p>中村川、堀川及び大岡川における水上交通の推進のためには、新たな棧橋整備や棧橋整備後の管理体制の検討について関係部署や運航事業者等との調整をしながら進めていく必要があります。そのため、石川町エリアの棧橋について、令和3年度に実施した道路設計に基づき、神奈川県治水事務所と連携し、棧橋整備完了に向けた調整を継続するとともに、棧橋等の整備工事を進める必要があります。また、水上交通を実現するためには、区民・事業者等が棧橋を利用しやすくするための管理体制について既存の棧橋の管理状況と併せて検討を進める必要があります。</p> <p>1 (仮)石川町棧橋の整備に向けた関係機関との調整          2 (仮)石川町棧橋の整備(周辺道路部分：■千円)          3 中村川、堀川及び大岡川の棧橋の管理体制の検討</p>					
◇参考：区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課		都市整備局都心再生課			

#### ◆局回答内容

都市整備局		都心再生課	
担当者名	小谷、保下	TEL	671-4247

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 (仮)石川町棧橋について、県工事の進捗に合わせ、周辺道路工事を行うための予算措置を講じます。大岡川水系の棧橋管理体制検討についても、神奈川県と引き続き調整を進めていきます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

### 令和5年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局
------	-------

中区		区政推進課	
担当者名	飯田、鬼塚	TEL	224-8128
共通区			

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	
予算関連	

番号	項目
----	----

3	初黄・日ノ出町地区地域再生まちづくり事業(店舗等借上事業)
---	-------------------------------

◇地域の課題、基礎データ等

初黄・日ノ出町地区は、かつて、違法な営業を行う小規模飲食店が多数存在しており、周辺住民の生活環境が極端に悪化していました。平成17年から始まった神奈川県警による取締り(バイバイ作戦)や、地元協議会と行政による活動により、現在はそのほとんどが閉鎖状態にあります。

しかし、店舗の形態はそのまま残っており営業再開のおそれがあることから、引き続き、店舗の借上等、まちの再生に向けた取組を推進していくことが不可欠となっています。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等   
 2 市民からの提案等   
 3 地区担当制   
 4 地域懇談会等  
 5 区民アンケート   
 6 区民要望   
 7 関係団体からの要望  
 8 その他( )

◇区民からの具体的な要望

地元協議会から、防犯拠点及び防犯活動、まちづくり活動への支援について要望があります。

また、平成27年1月に行われた、バイバイ作戦10周年記念式典において、「普通の町」、「にぎわいのある町」を目指すことが宣言されました。これらを実現するため、行政とともに引き続きまちの再生に向けた取組を進める必要があるとの意見が出されています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

中区運営方針「1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」

初黄・日ノ出町地区の健全なまちへの再生に向けて、関係局と連携し、取組を進めています。

◇提案内容・概算額等

健全なまちの再生に向けて、地区内に100軒近く残存する小規模店舗跡を文化芸術の活動拠点として整備するなど、土地利用の転換を促進するため、建物の賃借を継続して行うことを要望します。

また、建物の賃借と並行して、健全なまちを維持し、現状の賃借の形態に代わる持続可能な取組の検討を行う必要があります。

土地・店舗借上費 ■千円

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	都市整備局都心再生課
------	------------

◆局回答内容

都市整備局		都心再生課	
担当者名	小谷、保下	TEL	671-4247

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	アートを活用した安心・安全のまちづくりを推進するため、旧違法小規模店舗の借上げに係る予算措置を講じます。初黄・日ノ出町の地域再生に向けて、神奈川県警察等との連携した取組を継続してまいります。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和5年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局
------	-------

中区		区政推進課	
担当者名	飯田、鬼塚	TEL	224-8128
共通区			

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	
予算関連	

番号	項	目
----	---	---

4	初黄・日ノ出町地区の再生を目指した活動創出事業	
---	-------------------------	--

◇地域の課題、基礎データ等

初黄・日ノ出町地区は、かつて、違法な営業を行う小規模飲食店が多数存在しており、周辺住民の生活環境が極端に悪化していました。平成17年から始まった神奈川県警による取締り（バイバイ作戦）や、地元協議会と行政による活動により、現在はそのほとんどが閉鎖状態にあります。

しかし、店舗の形態はそのまま残っており営業再開のおそれがあることから、引き続き、店舗の借上等、まちの再生に向けた取組を推進していくことが不可欠となっています。

神奈川県警による一斉取締り「バイバイ作戦」から10年が経過し、まちの自立のため、「普通の町」になることや、商いの成り立つ「にぎわいのある町」を目指すことが、地元協議会によって宣言されました。住民主体の取組を継続し、アートの限らず様々な種類のにぎわいや活動の創出は、当地区の安全・安心のまちづくりを進めるためにも、特に重要なことです。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等   
 2 市民からの提案等   
 3 地区担当制   
 4 地域懇談会等  
 5 区民アンケート   
 6 区民要望   
 7 関係団体からの要望  
 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

地元協議会から、防犯拠点及び防犯活動、まちづくり活動への支援について要望があります。

また、平成27年1月に行われた、バイバイ作戦10周年記念式典において、「普通の町」、「にぎわいのある町」を目指すことが宣言されました。これらを実現するため、行政とともに引き続きまちの再生に向けた取組を進める必要があるとの意見が出されています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

中区運営方針「1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」  
初黄・日ノ出町地区の健全なまちへの再生に向けて、関係局と連携し、取組を進めています。

◇提案内容・概算額等

地域における様々な主体と連携しつつ、防犯活動に留まらない、当地区の新たなまちづくり活動の創出に向けた支援を行う必要があります。

さらに、まちの再生に向けて地域と共通認識を持ちながら、将来のまちの姿を見据えた活動を地域と役割を分担して進める必要があります。

委託費 ■千円

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	都市整備局都心再生課
------	------------

◆局回答内容

都市整備局		都心再生課	
担当者名	小谷、保下	TEL	671-4247

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 初黄・日ノ出町地区のまちづくり方策の検討や、小規模店舗の実態調査費等について、予算措置を講じます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

### 令和5年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

		中区	区政推進課	
所管局名	文化観光局	担当者名	飯田、鬼塚 TEL 224-8128	
		共通区		
		継続年数	7年以上	
<b>提案種別</b>				
予算関連				
番号	項 目			
5	初黄・日ノ出町地区における文化芸術を活用したまちづくり			
<b>◇地域の課題、基礎データ等</b>				
<p>初黄・日ノ出町地区は、かつて、違法な営業を行う小規模飲食店が多数存在しており、周辺住民の生活環境が極端に悪化していました。平成17年から始まった神奈川県警による取締り（バイバイ作戦）や、地元協議会と行政による活動により、現在はそのほとんどが閉鎖状態にあります。</p> <p>しかし、店舗の形態はそのまま残っており営業再開のおそれがあることから、引き続き、文化芸術によるまちづくりを継続し、地域とアートの共存を軸にした施設運営などを実施する必要があります。</p>				
<b>◇地域ニーズ等の収集手段</b>				
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )				
<b>◇区民からの具体的な要望</b>				
<p>地元協議会から、防犯拠点及び防犯活動、まちづくり活動への支援について要望があります。</p> <p>また、平成27年1月に行われた、バイバイ作戦10周年記念式典において、「普通の町」、「にぎわいのある町」を目指すことが宣言されました。これらを実現するため、行政とともに引き続きまちの再生に向けた取組を進める必要があるとの意見が出されています。</p>				
<b>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。</b>				
<p>中区運営方針「1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」</p> <p>初黄・日ノ出町地区の健全なまちへの再生に向けて、関係局と連携し、取組を進めています。</p>				
<b>◇提案内容・概算額等</b>				
<p>引き続き、文化・芸術によるまちづくりを進めるため、京急高架下や小規模店舗跡を活用した文化芸術活動拠点の整備を進めるとともに、地元NPOと協働しての拠点運営や更なる活用方策の検討を行うことを要望します。</p> <p>施設運営費 ■千円</p>				
<b>◇参考：区執行体制上の課題</b>				
現行の体制で対応				
<b>◇所管局</b>				
所管局課	文化観光局創造都市推進課			

◆局回答内容

	文化観光局	創造都市推進課		
担当者名	赤崎、江口		TEL	671-3868

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	高架下スタジオ等の管理運営費及び施設改修費等について、予算計上します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

### 令和5年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	市民局	中区		区政推進課	
		担当者名	飯田、鬼塚	TEL	224-8128
		共通区			
		継続年数	7年以上		
提案種別		予算関連			
番号	項目				
6	初黄・日ノ出町地区の防犯対策				
◇地域の課題、基礎データ等					
<p>初黄・日ノ出町地区は、かつて、違法な営業を行う小規模飲食店が多数存在しており、周辺住民の生活環境が極端に悪化していました。平成17年から始まった神奈川県警による取締り（パイパイ作戦）や、地元協議会と行政による活動により、現在はそのほとんどが閉鎖状態にあります。</p> <p>しかし、店舗の形態はそのまま残っており営業再開のおそれがあることから、引き続き地域住民が行う安全・安心のまちづくりを進める必要があります。地元協議会では防犯パトロール等の防犯活動や、地域防犯・交流の場として地域防犯拠点の運営を行っており、防犯効果やまちの活性化の高まりにつながっています。</p>					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ）					
◇区民からの具体的な要望					
<p>地元協議会から、防犯拠点及び防犯活動、まちづくり活動への支援について要望があります。</p> <p>また、平成27年1月に行われた、パイパイ作戦10周年記念式典において、「普通の町」、「にぎわいのある町」を目指すことが宣言されました。これらを実現するため、行政とともに引き続きまちの再生に向けた取組を進める必要があるとの意見が出されています。</p>					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。					
<p>中区運営方針「1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」</p> <p>初黄・日ノ出町地区の健全なまちへの再生に向けて、関係局と連携し、取組を進めています。</p>					
◇提案内容・概算額等					
<p>初黄・日ノ出町地区の安全・安心なまちづくりを進めるためには、協議会による防犯活動や啓発、地域防犯拠点の運営を継続して実施することが必要です。</p> <p>その協議会活動への支援や地域防犯拠点の管理運営に係る事業費を要望します。</p> <p>防犯活動支援費（地元協議会安全・安心まちづくり活動支援、地域防犯拠点等の防犯機能の向上、防犯啓発事業の費用） ■千円</p>					
◇参考：区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課	市民局地域防犯支援課				

#### ◆局回答内容

市民局		地域防犯支援課	
担当者名	平社、片渕	TEL	671-3705

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	初黄・日ノ出町地区については、違法な風俗営業を行う店舗は一扫されましたが、店舗の形態は依然として残っており、対策を怠ると以前の状態に戻る危険性があると認識しています。このため、地元協議会が取り組む、初黄・日ノ出地区の防犯活動への支援にかかる経費を予算計上します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

### 令和5年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

中区		中土木事務所	
担当者名	熊谷、齋藤	TEL	641-7681
共通区	4区（鶴見区、神奈川区、西区、南区）		

継続年数	2年
------	----

提案種別	予算・制度関連
------	---------

番号	項目
7	矢羽根型サインなどの観光案内施設の一括管理システムの構築

#### ◇地域の課題、基礎データ等

中区の都心臨海部では、古くから観光案内を目的として矢羽根型サインなどの設置が行われてきました。近年、経年劣化により矢羽根板面が脱落する事案などが多発しているため、これらの便民施設を総括的に維持管理していく必要があります。

中区では、様々な種類の標識等がありますが、それらは、紙面による管理となっています。法で定められている標識以外については、定期的な点検がなされていないため、市内で脱落事故などが起こった際に、職員による一斉点検を実施したり、道路局施設課による点検委託を実施している状況です。

道路局施設課が点検委託の際に活用する管理台帳についても、全ての標識等が網羅されているかが不明であり、十分とは言えません。

中土木事務所では、地理情報システム（GIS）を用いて、「大型標識」、「地点名標識」、「矢羽根型サイン」を入力し、その所在を地図上で確認できるように取り組んでいます。その他の標識等については、数が多いこともあり、全てを網羅できていません。

また、地理情報システム（GIS）を用いた取組は統一化されていないため、この取組を実施していない土木事務所もあります。その他、管理台帳がないことにより、標識を管理することができない土木事務所も存在するため、観光案内施設の一括管理システムの構築が必要であると考えます。

#### ◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

#### ◇区民からの具体的な要望

設置した観光案内施設について、適切に維持管理してほしいという意見があります。

#### ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

矢羽根型サインについては、損傷したものを撤去しているのみで、復旧は行っていません。

#### ◇提案内容・概算額等

観光案内を目的とした施設について、体系的に整理し、定期的な点検や修繕などの維持管理に関する予算措置を行って欲しいです。

特に矢羽根型サインについては、昨今の脱落事故に対して都度撤去対応となっている状況で、その他標識類も含め、予防保全の計画策定が必要です。道路局施設課が点検委託を発注し点検を進めており、こうした点検結果を踏まえた一括管理システムなどの構築をお願いしたいです。

#### ◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局	
所管局課	道路局施設課

#### ◆局回答内容

道路局		施設課	
担当者名	松田	TEL	671-2731

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 道路GISを活用した矢羽根型サインの管理を進めるとともに、道路構造物管理システムへの標識データの取り込みに向け、必要な経費を予算計上します。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題



令和5年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	国際局	中区		地域振興課	
		担当者名	矢作、小池、丸山	TEL	224-8137
		共通区			
			継続年数	2年	

提案種別	予算・制度関連
------	---------

番号	項目
8	なか国際交流ラウンジ 外国人転入者向け生活ガイダンス事業

◇地域の課題、基礎データ等  
 新たに中区民になられた外国人市民に情報提供をする機会が少なく、ラウンジの存在もあまり知られていません。現状では、戸籍課に来られた外国人市民へはウェルカムキットにあるラウンジのパンフレットでしかラウンジを知ることができないため、もっと適切にご利用いただくための周知が必要です。

◇地域ニーズ等の収集手段

<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等	<input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等	<input type="checkbox"/> 3 地区担当制	<input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等
<input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート	<input type="checkbox"/> 6 区民要望	<input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望	
<input type="checkbox"/> 8 その他 ( )			

◇区民からの具体的な要望  
 行政・生活情報の主な入手先として、友人・知人、近隣住民、同郷ネットワーク等が挙げられています(出典：令和2年度中区外国人意識調査)が、正確な情報が得られず困りラウンジに相談に来られるケースが散見されます。外国人が増加した場合の意見として、中区内居住の日本人の約7割が生活のマナーやルールが守られなくなると感じています。(出典：令和元年度中区区民意識調査)

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。  
 区政運営方針の施策3「多文化共生のまちづくり」として、なか国際交流ラウンジの活動が位置づけられています。なか国際交流ラウンジでは、外国人市民への支援や多文化交流・理解の取組を進めるとともに、ボランティア活躍の場の発掘や活躍の場の創出を行っています。  
 第2期「中区多文化共生推進アクションプラン」(令和3年度～令和6年度の4年計画)では、基本施策3として、なか国際交流ラウンジの活動が位置づけられています。  
 【基本施策3】外国人住民の暮らしを支える体制づくり NO.7 外国人向け総合窓口の充実  
 「なか国際交流ラウンジ(窓口等)での情報提供・相談」「タブレットを活用した生活ガイダンスの実施」  
 行政情報の提供方法として、外国人市民に対し、転入手続きをされた際にウェルカムキットをお渡しするほか、ラウンジや区の多言語によるホームページで発信しています。  
 令和4年度下半期から外国人転入者向けの生活ガイダンス実施に向けて、戸籍課などの関係各課と調整し、提供する情報の集約や、外国人転入者をラウンジへ誘導する仕組みづくり等を行っています。またラウンジでは、IT機器(タブレット)などのハード面の整備を行い、相談窓口の情報提供機能の強化を図っています。

◇提案内容・概算額等  
 外国人市民が安心して暮らせるよう、外国人新規転入者向けにIT機器(タブレット)を活用して、暮らしに必要な情報や相談窓口とつなげる生活ガイダンス「暮らし情報案内」を、令和4年度よりなか国際交流ラウンジで実施しています。「暮らし情報案内」実施のため、継続してラウンジ窓口体制を強化するとともに、情報コンテンツ※の内容の充実、対応言語の拡大、動画による具体的な解説等を増やしていきます。また、外国人市民の属性・ニーズ等の情報分析についても引き続き実施し、当事業を含むラウンジ事業全体の改善や見直しに反映させます。  
 ※「暮らし情報案内」のコンテンツ内容：ごみの分別・防災・地域情報などの暮らしに必要な基本情報、日本語学習情報、学校外国人コミュニティ情報、なか国際交流ラウンジの事業紹介 など  
 【概算額】  
 委託費 ■千円  
 (積算根拠)  
 ・掲載用動画の制作費(撮影・編集・多言語化対応等 1本約■千円×5種類×4言語) ■千円  
 ・運営費(多言語化・アンケート実施・ホームページ連携・窓口対応の強化等) ■千円

◇参考：区執行体制上の課題  
 現行の体制で対応

所管局課	国際局政策総務課
------	----------

◆局回答内容

国際局		政策総務課	
担当者名	松本・吉田	TEL	671-3826

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 必要な委託費を予算計上します。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

### 令和5年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	市民局	中区		中土木事務所	
		担当者名	藤崎、伊藤	TEL	641-7681
		共通区			
		継続年数	5年		

提案種別
予算関連

番号	項目
9	中土木事務所拡張事業(災害対応拠点)

◇地域の課題、基礎データ等

土木事務所は、道路管理者として、災害時はもとより道路陥没や道路施設等損傷発生の都度、修繕等対応に必要な資機材を準備し緊急出動し、応急措置を行うことが求められます。特に、大規模災害の発生時には、迅速な人命救助や消防活動、インフラ施設の復旧等のために緊急輸送路啓開等による通行機能を確保するため、迅速な対応をとることが重要な役割として求められています。

とりわけ中区では、県庁や市庁舎といった行政や企業等の中枢機能、港湾からの物流の大動脈、観光資源や商業施設の集積地を抱えています。そのため、中土木事務所には、都心部の中枢機能の確保や人命等に関わる深刻な被害の回避に向けて、より一層の迅速な対応が求められます。

中土木事務所は、敷地・庁舎が狭く、事務所内に資機材を十分に保管することができないため、緊急出動時も事務所から離れた資材置き場を経由して現場に向かうため、初動対応に時間がかかることから作業効率の低下など業務に支障をきたしています。大災害時を想定すると、道路維持車両による隔地資機材置場へのアクセスが困難となる可能性もある中で業務を継続しています。

そうした中、令和2年度には、資産活用推進会議の了承に基づき、隣接する土地について水道局から所管換えにより取得することができました。当該地に資機材倉庫を整備し、災害対応拠点としての機能の確保・強化を図ります。

【敷地データ】  
中土木事務所敷地 1,260㎡ ・取得した土地 892㎡

【参考】  
令和元年度台風15号時の陳情 1日で154件（街路樹や公園での倒木、冠水等）

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（大雨災や大雪災時の陳情及び通報）

◇区民からの具体的な要望

区民からは日頃より、安全・安心な生活ができるよう、道路、公園、下水道といった公共施設の適正な維持管理、災害等発生時の迅速な対応が求められています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

- ・中区運営方針：目標達成に向けた施策1「安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり」  
取組：道路・下水道・公園など、生活の支えとなる施設を安心して利用できるよう努めます。
- ・日常を含め大雨や台風災、大雪災における道路、下水道、公園の維持管理、緊急対応を実施
- ・中土木事務所所有地（小港橋）の売却 120㎡、5,110万円 令和3年12月売却済

◇提案内容・概算額等

1. 工事費  
土木事務所拡張に関する工事費 約■千円
2. 土地の売却  
本牧十二天B（資機材置場） 828㎡、約■千円（概算）資機材移転後売却予定

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	市民局 地域施設課
------	-----------

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	寺林 琢	TEL	671-2086

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	拡張事業の必要性は認識していますが、予算計上は困難です。
	◇対応する場合の課題
	引続き、区においても財源確保に努めて頂くようお願い致します。

